

**令和元年度 沖縄県振興審議会
第3回総合部会 議事要旨**

日時：令和元年9月10日(火) 9:30～:11:57

場所：県庁6階第2特別会議室

議事2 (1) 【駐留軍用地跡地の有効利用の推進】

- 跡地利用推進法について、今後は時限立法や延長・拡充のみではなく、新たな立法を求めることが必要ではないか。
- 県が自由に使える一括基金の創設を検討してはどうか。
- 給付金制度について、「地権者が不利益を被る」ことがあるかどうか確認したい。
- これまでの跡地利用は、商業施設、観光産業を主とした施設の導入が多かった。観光を主とする第3次産業は外的要因に左右されやすいので、今後は、第3次産業以外の産業を発展させるような施設を検討してはどうか。
- 報告書(素案)P230の【図表2-2-2-10-4】の返還前と返還後の倍率を示すにあたり、分母と分子が比較可能なものか、算出方法等について確認が必要ではないか。また、合計欄の数値は各地区の単純合計となっているが、単純合計でよいか確認が必要ではないか。備考で算出方法等を記載した方がよいのではないか。
- 返還に伴い、跡地開発ではプラス面だけでなく、汚染の除去など損失として捉える面もあるかと思うが、その内容も表記すべきではないか。
- 整備費について、県内へのベネフィットと県外へのベネフィットと区別されているのか。
- 新しい商業施設ができると別の商業施設からの客が流れ、客の奪い合いになってしまう。県全体として経済効果があったかを検証する必要があるのではないか。
- 報告書(素案)P604の先行取得について、「市町村との連携」について追記してはどうか。

議事 3 (1) 【社会経済フレーム（計画展望値）の動向】

- 沖縄県のサービス業の労働生産性は、全国と比較するとどのような状況なのか。
- 「全ての産業における労働生産性を改善することが最重要課題である」とあるが、具体的な改善策は何か。
- ホテルの設置が増え、観光客も増加し観光産業は伸びているのに、関連する指標が伸びていない。観光産業に頼り過ぎている。
- 1次産業、2次産業も落ちている中で、6次産業が伸びてきている。今後6次産業の支援を強化してはどうか。
- 労働生産性の算出の仕方について、労働時間も加味した計算方法にしてはどうか。
- 報告書（素案）P324の28行目の「道半ば」という表現について、あまり達成されていないような印象を受けるので、検討してはどうか。
- 沖縄県に製造業が少ないのは、立地できるエリアが少ないことが要因ではないか。企業側の要望を反映した方向性が示されているのか。
- 沖縄県の工業地は異常な高値で全国トップの上昇率となっている。沖縄県内ではなく、県外に工場を出した方がいいという悪循環に陥る可能性があるので、早めに方向性と対策を打ち出す必要がある。
- 「沖縄らしい優しい社会」についての社会経済フレームについて、検討してはどうか。

その他

- 以下、3点について、各部会へ申し送ることです承。
 - ①報告書（素案）に記載されているデータを最新値にすること。
 - ②すべての成果指標を掲載すること。
 - ③成果指標の達成状況の表現について、検証シートで使用している判定基準を用いた表現に統一すること。